

令和5年度 学校評価結果の報告書

四国中央市立北小学校

1 自己評価について

(1) 教職員による自己評価（9月前期・2月後期）

9月、2月に全教職員による自己評価（学校評価）を実施した。結果の考察は、各校務分掌の責任者で分担して行い、全教職員で成果と課題・改善策について話し合うことで、その後の改善につなげるようにした。また、その改善策をまとめたプリントを作成し、周知徹底を行った。

年度末の評価結果（%）は、別紙（資料1）のとおりである。

(2) 保護者による教育活動アンケート調査（2月初旬）

保護者に対するアンケート調査は今年度で16年目になる。毎年3学期に実施し、次年度の取組に生かしている。

2 学校関係者評価について

(1) 学校関係者評価委員会の実施

毎年5月と2月に開催している。5月の学校関係者評価委員会では、学校要覧やグランドデザイン等の資料を基に、学校の教育活動について説明し、今年度の教育活動について理解と協力を求めた。

2月には、教職員による学校評価結果、教育活動アンケート調査（保護者）結果について説明を行い、評価を実施するとともに改善点についての助言をいただいた。

2月の評価結果は、別紙（資料3）のとおりである。

(2) 学校関係者評価委員会等における情報交換

学校関係者評価委員には、例年、毎月学校便りを配付したり、様々な行事のときは、案内したりしてその都度、情報交換を密に行ってきた。今年度も、感染症の状況を考慮しながら、感染症対策を万全に取った中で、行事の案内を行うことができた。来年度も、より一層つながり合い、児童のためにより良い学校になるよう情報交換を行いたい。

3 教職員による自己評価結果

資料1 教職員による自己評価結果（%表示） 12名

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない

		上段：R4	下段：R5	A	B	C
1	気持ちのよい挨拶	8	84	8		
		0	82	18		
2	学級やたて割班活動による認め合う仲間づくり	73	27	0		
		73	27	0		
3	つづり方による生活でつながる仲間集団の育成	9	82	9		
		22	67	11		
4	自主的な学習習慣の確立（自主学习、読書）	18	73	9		
		20	18	0		
5	基礎的・基本的な内容の確実な定着（スキルタイムの充実、5問テスト）	82	18	0		

		67	33	0
6	授業のユニバーサルデザイン化、主体的・対話的で深い学びによる授業改善	36	64	0
		40	60	0
7	めあてをもって取り組む体力づくり	25	75	0
		45	55	0
8	早寝・早起き・朝ご飯・朝トイレ運動の推進	75	25	0
		36	64	0
9	行事・特活が充実している・子どものための行事になっている	92	8	0
		64	36	0
10	教育課程や日課表が適切であり、円滑に実施できている。	67	33	0
		91	9	0
11	考え、議論するための多様で効果的な指導方法への改善が図られているか。	40	60	0
		33	67	0
12	人権・同和教育視点に立った学級づくりや学力保障等に努めている。	73	18	9
		73	27	0
13	差別の現実に学び、同和問題解決への姿勢確立のための研修ができている	83	17	0
		64	36	0
14	推進のための共通理解・校内支援体制ができている。	42	58	0
		55	45	0
15	特別な教育的ニーズを必要とする児童に適切な支援ができている。	42	58	0
		64	36	0
16	給食指導が適切に行われている。	59	33	8
		82	18	0
17	安全点検・安全指導が適切に行われている。	83	17	0
		73	27	0
18	いじめの早期発見・早期対応に向けてきちんと取り組んでいる。	58	42	0
		64	36	0
19	困難な条件のもとにある児童の把握と継続的な指導がなされている。	50	50	0
		64	36	0
20	適切な言葉遣いの指導がなされている。	33	67	0
		45	46	9
21	清掃を通じた心の指導がなされている。	59	33	8
		18	73	9
22	生活アンケートに基づき子どもに寄り添う指導がなされている	100	0	0
		91	9	0
23	望ましい校外生活指導がなされている	58	42	0
		54	46	0
24	総合的な学習の時間が充実している。	50	50	0
		57	43	0
25	I C T機器の活用が計画的にできている。	73	27	0
		45	45	10
26	校内研修が計画的・効果的に行われている。	83	17	0
		82	18	0
27	授業改善に向けて全教職員で取り組んでいる。	67	33	0
		73	27	0

28	参観日・懇談会、家庭訪問、個別懇談は適切である。	67	25	8
		36	55	9
29	P T Aの組織、活動、役員会運営は適切である。	83	17	0
		36	64	0
30	学校・家庭・地域の連携がよく図られている。	75	25	0
		73	27	0
31	地域の人材、自然、文化遺産等の活用ができています。	67	33	0
		73	27	0
32	校舎内外の美化・清掃がよくできている。	58	42	0
		73	27	0
33	施設・備品・教具・消耗品等が活用しやすい状態である。	67	33	0
		100	0	0
34	校務分掌の責任ある校務遂行ができています	50	50	0
		73	27	0
35	情報管理、諸帳簿の点検・保管、金銭の管理・経理ができています。	92	8	0
		100	0	0
36	教職員が互いに支え合い、気持ちよく働ける職場になっている。	67	33	0
		46	54	0

4 自己評価を受けての今後（来年度）の方向性

検討事項	内 容
1 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良い挨拶の仕方を集会委員が中心となって全校に呼び掛ける。
2 つづり方	<ul style="list-style-type: none"> つづり方の職員研修を校内研修の時間に行う。教職員で、児童のつづり方を読み合ったり、実践を紹介し合ったりすることで、北小独自の取組を継続していく。
3 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の面、特別支援の面などで共通理解が必要なときは、職員会議や研修の時間を活用して報告する。必要に応じて対応策を考える時間を取る。
4 給食指導	<ul style="list-style-type: none"> 長い髪の毛が帽子から出ている児童がいるので、帽子に入れるか、1つか2つなどに結ぶ方がよいと思う。 給食時の衛生的な服装について指導する。
5 終礼やミライムメッセージの活用	<ul style="list-style-type: none"> トラブルなどが起こったときは、その経緯をスズキ校務などを使用して記録に残し、事実や指導内容なども明確にしておくことで、来年度への引継ぎがスムーズに行うことができる。また、保護者への説明も的確に行うことができる。
6 3学期の参観日	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の参観日を1回にしてほしい。 <p>→ 1月の人権・同和教育地域参観日は北小の伝統であり、他の月への変更は難しい。講演会の後で学級懇談会も取るなどして、回数を1回に変更することにした。</p>
7 働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 来年度からは、授業時数や学校教育などに支障がなければ、学期末などの水曜日の午後をカットするなど、教職員の勤務時間内に可能な限り業務が行えるようにする。

5 学校教育活動アンケート (%表示)・・・104名中87名 回収率84%

番号	質 問	R 4	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	ほとんど当てはまらない
		R 5				
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	52	39	7	2	
		47				
2	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	37	52	9	2	
		35				
3	子どもは、意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	29	39	25	7	
		26				
4	先生は、一人一人の子どもをよく理解しようとしている。	58	33	9	0	
		51				
5	先生は、子どものことについての相談に、適切に応じている。	58	33	9	0	
		61				
6	学校は、発達段階に応じて、人権尊重の意識を育てている。	61	35	4	0	
		53				
7	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	58	32	10	0	
		31				
8	学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	69	22	7	2	
		54				
9	学校は、地域や保護者の声をくみとる努力をしている。	53	36	7	4	
		37				
10	運動会や音楽会などの学校行事に、参加しやすくなっている。	57	38	5	0	
		65				
11	学校だよりや学級だより等は、効果的で役に立っている。	64	32	3	1	
		61				
12	学校が保護者に出す文書や電話の応対等は、適切である。	62	33	3	2	
		51				

【保護者の意見】

- いつも大変お世話になっております。学校生活では、自分にあった学習方法でできるようになったことに自信がもてていると思います。ご指導、ご支援いつもありがとうございます。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますがよろしくお願いします。
- いつも子どもたちを見守ってありがとうございます。
- 些細なことも連絡をいただき、丁寧な対応で安心しています。

主な要望・改善点に対して、今後の対応を確認しました

- ◇ 人権・同和教育について、強制的な感じがあるので、それをなくしてほしい。
→ 北小学校は、人権・同和教育を中心においた教育活動を実践しております。人権・同和教育は、自分の生き方について考える教育です。部落差別問題だけではなく、障がい者差別問題やいじめなどについても、道徳科や総合的な学習の時間などを中心に学習しています。子どもたちの学びを共に支えていただくために、ご都合を付けてご

【1年間を通しての感想・提言】

- 参観日では、明るく元気に学習している子どもたちの姿を見ることができた。ICT 機器を有効的に活用する活動なども積極的に取り入れ、個別最適な学習環境が充実していると思う。
- なかま集会での5年生の人権劇がすばらしかった。登場人物の気持ちをよく考えて表現できていた。他の学年の感想交流もがんばって言えていた。
- ほぼ理想通りの学校経営であり、微笑ましく思う。大変な時代になっているが、教職員一丸となってがんばって欲しい。